

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 8 期第 4 回相模原市緑区区民会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話 0 4 2 - 7 7 5 - 8 8 0 2 (直通)		
開催日時		令和 7 年 3 月 2 5 日 (火) 午後 3 時～ 4 時 3 0 分		
開催場所		緑区合同庁舎 4 階 集団指導室		
出席者	委 員	2 1 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	7 人 (区長、副区長、他 5 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	3 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議題 緑区基本計画の進捗状況について 3 その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は会長の発言 ○は委員の発言 ●は事務局の発言）

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議公開の確認を行った。また、3名の傍聴希望者がいる旨を報告し、傍聴の許可を行った。

2 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

緑区基本計画の進捗状況について

事務局から資料に基づき、今回の審議内容である取組の方向性Ⅰ「『育て合う・学び合う』まちづくり」の内容について説明を行ったのち、3班に分かれて意見交換を行った。

◎牧瀬会長

グループワークに入る前に、河津委員より地域での取組について情報提供があるため、説明をお願いしたい。

○河津委員

第7期緑区区民会議で実施した「高校生の区民会議」に参加していた相原高校の生徒から相模湖のリーフレットを作成したいと連絡を受け、まちづくりセンター職員と共に取材の協力をした。区民会議の実績としても意味があると思い、完成したリーフレットを共有する。先方へ権利関係を確認したのち、ご活用いただきたい。

また、相模湖まちづくり会議においても津久井高校の生徒にコラボレーションを依頼し、若者目線で相模湖の足漕ぎスワンをイラスト化したLINEスタンプを作成してもらった。まだリリースには至っていないが、区や地域のPRの取組として活用いただきたい。

◎牧瀬会長

本日の取組目標Ⅰ「『育て合う・学び合う』まちづくり」に関連する可能性もあるかと思い、先に説明していただいた。

3班に分かれて、取組目標Ⅰに関連する、地域における取組及び課題の抽出ならびに対応方策の検討にかかる意見交換を行った。

<各班の主な意見>

【A班】発表者：山本委員

○地域における子どもとの活動について、いくつか事例が挙げた。中学生が祭りを運営する七夕の企画や、藤野地区ではコモンミールの取組※や子ども食堂がある。そのほかにも、あやとりやお手玉などの昔の遊びを高齢者から学ぶ機会もあった。事例をまとめると、やはり「交流すること」が重要なのではないか。大人が子どもに一方的に教えるのではなく、子どもと友達になるような社会になると良い。高齢者が、デジタルネイティブである子どもたちからスマートフォンの使い方を学ぶのも面白いのではないか。

※住人たちが交代で食事を作り、一緒に食卓を囲む取組

○教育については、かるたを通して地域の歴史を学べる「橋本郷土かるた」の取組や、見ているだけで楽しい鳥瞰図のような大きな地図が作られている。遊びながら歴史を学べるというのは良いアイデアだと思うので、色々な地域でこのような取組があると良い。

○図書館がない地域もあるため、移動式の図書館や本を寄贈するなど、助け合いも重要という意見があった。

【B班】発表者：池田（孝）委員

○子供の教育で一番大切なのは大人の教育ではないか。子どもたちの遊びや学びは大人が担保しなければならないが、まずは大人が顔見知りのコミュニティを作る必要がある。

○例えば城山ではボールが使える公園が1か所しかないが、子どもではなく高齢者がゲートボールをしている。高齢者に寄っていく行政の動きにも変化を加えていただきたい。まずは子どもたちがしっかり遊べて、その先に子どもたちと高齢者とが顔を合わせる広場になるようなコミュニティの形成が重要だ。ただ、我々か、または適切な団体が運営を始めていかなければならないというのが課題である。

○小学校の統廃合の問題も、子どもが増えているときはどんどん学校を建て、減ったら廃校にするとすると、地域の愛校心のような感情や要した費用などを考えると素直に受け止めることは難しい。終わりを迎えることを見据えた上で運営をすることが重要である。

○人生100年時代の今、子どもと高齢者ではこれからの人生の長さが大きく異なる。大人から子どもへ受け継いでいく、それを理解できる大人をまずは育てていかなければならない。大人同士の教育をしたうえで、児童教育を行えるコミュニティの形成が必要なのではないか。

【C班】発表者：高村委員

○子どもたちの居場所づくりや子育ての問題については、中央区などと中山間地

域では課題が全く異なるため、掘り下げて検討するのは難しい。

○子どもたちの居場所作りをしてほしいが、子どもたちの数が非常に少ない中で、学童や遊べる公園が全くないのが現状。大規模な学童や遊び場を確保するのは困難なため、子どもたちが集まれる小さな拠点を、今ある場所を活用して沢山作れば良いという意見でまとまったが、その運営については見守る大人の確保など課題がある。

○地域によって課題が大きく異なるため、地域ごとに課題を分散して検討し、アイデア出しをするようなグループディスカッションをすべき。

◎牧瀬会長

3 グループの発表を聞いて「持続性が弱くなってきている」「当たり前が当たり前ではなくなっている」等、課題は共通しているように感じた。その中でどうしていくかについては、世代間交流や地域間交流など「交流」のほか、「学びを遊び化する」や「小さなコミュニティの形成」「子どもの教育は大人の教育から」などのキーワードが出た。

また、キーワードに対して、担い手は地域か行政か、コミュニティ形成のポイント（場所）がないということも課題として出た。

次回以降についても自由な意見交換によりキーワードを見つけていきたい。

3 その他

事務局より、4月1日にアリオ橋本で行う緑区誕生15周年のキックオフイベントについてご案内した。

次回の区民会議については、日程が決まり次第ご連絡させていただく。

4 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	○森 誠壽	橋本地区まちづくり会議	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議	出席
	小島 盛生	城山地区まちづくり会議	出席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議	出席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議	出席
	宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議	出席
関係団体	松井 光臣	相模原市２２地区社会福祉協議会緑区連絡会	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
	佐藤 稔	相模原市ＰＴＡ連絡協議会	出席
	池田 孝夫	相模原商工会議所	出席
	森下 裕司	津久井地域商工会連絡協議会	出席
	原 幹朗	公益社団法人相模原市観光協会	出席
	沼尾 将輝	公益社団法人相模原青年会議所	欠席
	畑野 栄久	公益社団法人津久井青年会議所	出席
	高橋 靖典	一般社団法人藤野エリアマネジメント	出席
	山本 祐子	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ	出席
	前山 善憲	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	欠席
学識経験者	◎牧瀬 稔	関東学院大学法学部 教授	出席
	池田 寛二	法政大学社会学部 名誉教授	欠席
区民	猿渡 達明	公募委員	出席
	高村 るみ	公募委員	出席
	山下友梨子	公募委員	欠席
民間事業者	奥平 麻由	相模湖リゾート株式会社	出席
	櫛見 大	東日本旅客鉄道株式会社	出席
	山口 稔	神奈川つくい農業協同組合	出席

◎は会長、○は副会長